

三陽 樹木破碎機のユーザー拡大

三陽機器㈱(寺前公平社長・岡山県浅口市庄町新庄385-8)が新事業として立ち上げた「葉刈りサイクル関連事業」が好調な推移をみている。中でも樹木破碎機グリーンフレーカーGFSシリーズは、普及につれてユーザーも多様化。野菜が禁止され、剪定枝などの処理に困っている果樹農家の林家をはじめ、高層農家・ゴルフ場・造園業者・建設土木業者・ホビー・老人ホーム・シルバークルセンターなどが多岐にわたっている。最近では公園や街路樹をもつ自治体、ごみ処理業者など各企業、学校関係者などからも需要が引き合いが寄せられている。

同社は、フロントロー 載付走式を、また今年に 低価格で求めやすいこと 高とろわけ竹は破碎機ダのトップメーカーとして 入って小型自走式 機種が人気の要因だが、「作業が困難で、古竹でもとて長持ちしてきた油圧や を完成、用途に応じた機 業中、結束や旋回取り れまでの破碎機では手



寺前社長

持ち山の竹処理に 人気がグリーカ 畜産農家は敷料づくり

サイクル関連の製品開発 機が進べるよう、シリーズがなぐ強い思い。「生木 ずっていた。同機では古に投。樹木破碎機「グズを充実している。最前でもぬいた木でも容易に 竹は勿論、もつとも処理グリーンフレーカーGFSシリーズが進むとともに、その 処理でも便利」などとしていわれてきた。成は7月にトラクタマ 評価を得、低価格を実現 評価の声を返さない。行える。また樹木以外でウント式を、13年5月に した中型クラスの樹木破 特に近年、同機が注目 も木の皮・わら・雑草、

自走式(カソリン)を究 碎機として確固たる地位 を築めているのは、従来 新聞紙・ダンボール・た 死したのに続き、13年12 を築きつつある。 クラッ最大の処理能力と 月には軽トラク搭載型 最速の処理能力をながら どの破砕も簡単にできる 【ユーザーの声】

持ち山の竹処理にグリーンフレーカーを用いる星さんと破砕チップを敷きわら代わりに使う畜産農家の大浦さん



グリーフレーカーが強い 用 のではいかかということ 「何頭か牛を飼ってお になり、実機を貸させてり、年々敷きわらを手 ちりました。思ったより するのが難しくなり、と 上に竹がつかなくなり、こ するが苦しい。いまし れならさすに牛に戻すこ た。付き合ひのある農機 とがでると思い、購入 販売店の展示会に行った を決断しました」。

「使ってみて、細かい を買しました。チップが非 とを去る安全面の配慮 常に細かいため、これら がなされていることがわ ら敷きわら代わりにでき かり、改めてグリーンフ 入ると思い、購入すること 力に」と良かったと 「にしました」。

「直保12年、長さ30センチ 直保12年、長さ30センチ 直保12年、長さ30センチ 直保12年、長さ30センチ